

# 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

## 令和3年度

### ◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

### ◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

### ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 石井、湯川、森、古山、中島、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	0	4	7	2	13

前回の改善計画

人と関わる事が大事なので、チームとして受け入れるために会って話すようにする。  
小規模の普段の様子をタブレットで見せるなど工夫し「ここに来よう」と思えるきっかけを作る。

前回の改善計画に対する取組み結果

会って話す機会も少なかった。  
タブレットの使用はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	12	2	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	13	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1	13	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	10	2	1	14

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

毎日のミーティングと、ケアマネからの情報や資料(医師の意見書等)で情報共有し、本人、家族が必要としている支援に努めている。

慣れない時期には、不安な気持ちに寄り添い気遣い、声掛けを大事に対応している。本人を支える為の関係作りは、初めが肝心である事を意識し相手の反応を見ながら、声掛けなど気遣っている。また、家族への声掛けも意識して不安や疑問に応えられるよう傾聴に心がけた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

改善計画に上げていたタブレットを活用すると言う工夫はできなかった。

家族と会って話をする機会も、昨年同様あまり持たず、利用者によっては家族の思いと本人の思いが異なる事もあり、十分なコミュニケーションとまでは出来なかった。

初期の関わりで、お互いに分からない思いも抱えながら対応する事もあり、不安な思いを受け止め切れていないような気がする事もあった。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

施設の設定や利用中の様子など写真や動画でスライドショーの作成を行う。  
機関紙の作成を継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 11 月 25 日 (18 : 30~19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 江崎、中島、岩崎、原田、古山、福山、森、吉本、湯川、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	7	5	1	13

前回の改善計画	目の前だけに寄り添うのではなく、「本人の目標(ゴール)」を全員が理解し行動する。(①をクリアする。)
前回の改善計画に対する取組み結果	努力はしたが、まだ理解できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	5	9	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	5	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	6	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	9	4	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ケース検討会議で本人の「ゴール」を確認しながら情報収集し、振り返り、把握と実現に向けて話し合いが持てたケースもある。 本人、家族の声を記録やミーティングに反映させて、本人の「～したい」を叶えられるように努力し支援した。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 「～したい」が大きな目標すぎて、その目標が困難ではないかと感じる事もあった。 意思表示をあまりされない方に対してアプローチが少ない。 職員が個々に目標を意識できているが、全体としての理解ができていないためチームとして関わりが出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 「自分たちで(サービス計画)作っていないからできない」ではなく、サービス計画の目標は大きなものなので身近な目標が判るライフサポートプラン、小さなゴールを設定し、それを目指す話し合いを日々行う場を作る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 12 月 6 日 (18 : 30～19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 中川正、原田、古山、森、岩崎、石井、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	0	11	2	0	13

前回の改善計画	その人から出る言葉を、沢山拾うために、1つのシートに落とし込んでいく。(センター方式のC-1-2のシートの充実を図る。)
前回の改善計画に対する取組み結果	記入していたが充実は図れていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	1	12	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	13	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	13	0	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	13	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	10	3	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること センター方式のシートの勉強し、会議や日々で少しずつでだが記入できている。 ケース検討会議やミーティングで把握に努め、即時的な支援にも対応している。 送迎、入浴等個別で対応する時などに本人の気持ち等が引き出せる事も多く、各支援の場面を利用してコミュニケーションを大切にしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 日々の業務に追われ、ゆとりがなく、ゆっくり話す機会が持てない事も多く、全員分は出来ていない。 「以前の暮らし」の把握は本人からの聞き取りでも困難な場合がある。 本人の気持ちや体調の変化を十分傾聴し寄り添う支援ができていないと感じる事もある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 今までは全体で取り組んでいたが、担当者を決めてシートの充実を図る。 記載方法も、キーワードで絞り込み出来るような仕組みの検討を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 12 月 6 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中川正、原田、古山、森、岩崎、石井、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	4	7	0	11

前回の改善計画

その人らしい生活を尊重し安全に、押し付けにならない「おせっかいと、放置の間」の支援を行う。  
A-4(私の支援シートマップ)と C-1-2(私の姿と気持ちシート)を一本化して、一人につき最低 3 個落とし込む

前回の改善計画に対する取組み結果

見たり、聞いたりすることは行っていたが、全員のシートに落とし込めていない。  
シート (A-4 と C-1-2) を一本化しない方が、イメージしやすかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	6	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	10	4	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	12	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	9	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

本人との日常会話に耳を傾け、今までのライフスタイルや人間関係を知る努力をした。  
少しずつだがセンター方式のシートで情報収集する事もでき、月 1 回のケース検討会議でこのシートを活用する事でその人らしい生活や思いの理解を共有する努力ができた。  
送迎等で近所の方がおられた際は挨拶をして、その方と地域との関わりが切れないように努めた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の残存能力を活かしながらかやれているのかと疑問に思ったり、地域を巻き込めていないと感じることが多い。  
利用時間以外の過ごし方は本人から聞いてもわからず、不明な点が多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

訪問時等のご近所の方との関わりを大切にし、繋がる (挨拶や会話) 事を引き続き意識する。  
A-4 (私の支援マップシート) の充実を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月3日(18:30~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 湯川、古山、中川雄、石井、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	4	1	13

前回の改善計画	本人が納得するような言い方で信頼関係を築き、自立支援につなげる。 「小規模に来てよかったと思う」施設「あそこいやや」と思わせない
前回の改善計画に対する取組み結果	今までできていなかった支援(個別性)ができるようになり、信頼されてきたと感じるようになった。 (利用者から『(かたぎはら)は個々の楽しみ方をしているのね〜』と感想を聞く事があった)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	9	1	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	14	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	11	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	2	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ニーズに対して色々な側面から、日々の変化に気づき状態合わせた支援が出来ている。 当事業所以外の関係機関とも連携している。 日々のミーティングを大切に、多機能性の強みを活かしてニーズに合わせたサービス提供に努めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ニーズに対して体制により寄り添えない時もある。 地域社会資源はまだわからない部分が多くある。 一部で「通い(デイ)ですることがない」と言われる方もあり、通いに対するイメージがまだ浸透できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 通いの場が楽しいと思えるように、居心地のよい空間を大切にし、個々の好きなことをしてもらいながら「役割」や「自信」を持った生活に繋げ、利用者同士の交流を通じて関係性の構築を図る。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月10日(18:30~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 湯川、岡田、古山、中川雄、石井、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	0	1	12	13

前回の改善計画
(洛西ケーブルテレビの活用) 保育園の来所を促す。 手作りの物を渡せる関係づくり 例) Yさんの箱作り 子供は自分のできることなどを見てもらえる(披露)ことが楽しみなので、ビデオレターなど繋がりを作る。例) 榎原児童館はけん玉が流行っているのでそれをビデオでとって利用者に見てもらい、応援メッセージを返す
前回の改善計画に対する取組み結果
手作りの箱を保育園に渡すことはできた。 それ以外は、アプローチもしたがコロナ感染拡大等により、実現することはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	5	0	9	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	5	1	8	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	0	1	13	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	0	14	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 担当者会議、他事業所医療機関との会議、Zoom会議は参加できている。 大阪・京都のオレンジカップ(認知症理解を深めるための啓発活動)への参加として、令和3年度は絵本作りを行った。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナの影響で参加できるイベントや交流は自粛や中止で、子どもとの交流に関しても接点を持つことが控えなければならなかった。 会議等開催されても、代表者のみと人員制限があり、現場ケアワーカーの参加は厳しい状況だった。 業務を回すことで手一杯で考える時間が作れなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者の作成した箱を違う保育園等に渡せる機会を作り、地域との関わりづくりを継続する。 地域に認知して頂けるように、自施設発信のイベント等の企画する  (例) 作品展やベランダカフェ
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 12 月 6 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

7. 運営

メンバー 中川正、原田、古山、森、岩崎、石井、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8	5	0	0	13

前回の改善計画	日々の業務をきちんと遂行することが、大切で、苦情に対して真摯に向き合う。 子どもとのつながりを作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	苦情に対して真摯に向き合い対応してきた。 子供とのつながりはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	11	3	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	1	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	5	1	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	5	7	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者、家族から意見、苦情に対して真摯に向き合い、会議等で協議し迅速な対応し、運営に反映している。 会議の場において事業所の在り方について意見をいうことは出来ている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍で子供とのつながりを作る事はできなかった。 コロナ禍ではあったが、その中でも前向きに取り組めることを考える努力が不足し、考えても何をすればよいのか具体的ではないために、着手できないままになっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 消防訓練のお誘いをする。 知ってもらう (認知) 働きかけをする  (例) チラシ配布、お昼ご飯、近隣施設 (愛育園、京都保専) との関わりを持つ
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月10日(18:30~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 湯川、岡田、古山、中川雄、石井、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4	6	3	0	13

前回の改善計画	Zoom やウェブでの研修を取り入れる。 個々が習得したことや理解したことを人に伝える事が出来ること大切なので、復命伝達研修を積極的に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修参加はできている。 復命研修も実施しているが、書面開催になっていることもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	8	2	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	5	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	5	6	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	10	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 全員が研修に参加できるよう時間の確保、職員に応じた機会や案内などもしてもらっている。 内部研修、外部研修(Zoom、対面)共に、開催され、参加できている。 各委員会の設置し、それらを通じて改善に取り組んでいる。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域連絡会議は人数制限があり、行きたくても行けない。 体制不足で出れない事もある。 各研修が始まっているが、実技を伴う研修に機会は減っている。 復命研修は書面回覧が多く、質疑応答の機会がすくない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 復命研修の継続や復命研修の方法を検討(動画でポイントをまとめる) 対面研修の場を増やす。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月17日(17:30~18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 湯川、古山、原田、中川雄、石井、林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	10	2	0	12

前回の改善計画	大声で伝達をしない。 個人情報の取り扱いの意識などを個々でルールとしていることなどを情報交換し、意識付ける。 プチミーティングで時々注意喚起を促す日を作り、常に意識できるような環境を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	プチミーティングの場所を変更し、配慮に努めたが、注意喚起を促す日は作っていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2	1	0	14
②	虐待は行われていない	11	2	0	0	14
③	プライバシーが守られている	1	10	2	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	6	3	1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができてい	0	13	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること プライバシーを意識し、ミーティングの場所を変更した。 身体拘束、虐待を意識し、防止に努めている。 スピーチロック、ドラックロック、フィジカルロックなど介護する側でなく、介護される側を意識している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 前回の改善計画で上げていた人権、プライバシーの注意喚起を促す日を定めていなかった。 気をつけていても、情報共有に集中するあまり、大きな声で伝達している事がある。 ミーティングは場所を変えたが、リーダーへの報告や電話はフロアで行っていたり、他の業務の為パソコンの情報やファイルを開いたままにしたことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 相手の気持ちを自分の立場に置き替えて行動する。 遠くから声を掛けない意識を持つ(伝えたい方の傍まで行って声を掛けることで、声のトーンも下がり、丁寧な声掛けになる) 会議で定期的に振り返る日を作って、具体的に話し合う。
---------------	--

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	2	0	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・利用者が気持ちよく過ごせるよう工夫されている姿勢が伺えた
- ・話し合いの機会を持つことは出来ている
- ・皆様で相談しながら業務と併用しつつ取り組まれていることがわかりました。丁寧に記載して頂き分かりやすいです。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・改善計画を達成しようとしている姿勢は伝わった
- ・「2、自己実現の尊重」の「出来ていない点」で職員連携が出来ていないとなっている。利用者満足に大きくかわる内容なのでチームアプローチできるよう改善頂きたい。また職員連携は利用者支援の根幹であるので早急な対応が必要と考える。
- ・コロナ禍で対面で話すことは難しかったように思います。タブレットなど SNS 活用は良いと思いました。ぜひ進めて頂ければと思います。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・改善計画が出来ている点、出来ていない点と具体的に分けて反省されているのは良いと思う
- ・「7、運営」において消防訓練のお誘いは有事に手伝いを期待されていると受け取られかねない内容の工夫が求められると考える。具体的なイメージを提案して下さい。
- ・シート作成や機関誌など、コロナ禍において可能な範囲での目標設定になっていると思われます。支援シートをまた機会があれば見せて頂きたいと思ひます。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・具体的な改善計画は楽しみである。

【改善計画】※後日記入

ホームページのお知らせ欄を活用、更新をし施設をアピールしていく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	1	2	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	4	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・0は何の為にあるのか
- ・インターホンおよび事前にTELするなど少し複雑な事が気になりました。
- ・中に入れなかったので空間は「わからない」としました。

【前回の改善計画】

- ・小規模西側の居室の窓に「小規模かたぎはら」と書かれた貼り紙は見られるが少し遠慮気味に思えた。
- ・家族アンケートも試してみはどうか
- ・インターネット（HP）も使ってアプローチされて地域の方にもアプローチ出来るように思います。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・新街道沿いの看板も同系色で品はあるが、目につきにくいように思う。
- ・0の施設のアプローチとはPRの事か？掲示板を活用してみてはどうか

【今回の改善計画】※後日記入

遠くからでも判る建物にする為、車道側や2, 3階の避難経路の側面にかたぎはらのペインティングを検討する。併せて横断幕の作成も検討する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	4	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	1	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2	0	2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・2の地域とはどの範囲か
- ・相談しやすくいつもお電話いただきありがとうございます。
- ・コロナ禍でもありイベント参加は難しかったのではないかと思います。

【前回の改善計画】

- ・アンケートを取ってみてはどうですか
- ・今の所コロナ禍で行事が行えていない

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・0の施設のアプローチとはPRの事か？掲示板を活用してみてもどうか
- ・檜原公会堂ではTVが設置されたのですが、すこやかサロンが開催される折には施設の設備や利用中の様子等が写真やDVDで披露されてはどうかと思う。

【改善計画】※後日記入

遠くからでも判る建物にする為、車道側や2, 3階の避難経路の側面にかたぎはらのペインティングを検討する。併せて横断幕の作成も検討する。

チラシを地域住民にポスティングする。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1	1	2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	1	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	0	1	3

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2の利用者の住んでいる地域の人と交えた会議とはどのような会議なのか？</li> <li>・コロナ禍で交流は難しかったと思います。作品を渡したりなどできてよかったです。</li> <li>・研修はZoomで参加頂きありがとうございます。</li> </ul>
<p><b>【前回の改善計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議以外の行事や研修はどのような物がありますか</li> <li>・コロナ禍で研修や行事は開催できていない</li> <li>・なるべく定期的で開催したいと思っていますのでまたご参加下さい。</li> <li>・交流も他法人でZoom活用されているとことができました。</li> </ul>
<p><b>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域では檜原学区ではなく利用者が住んでいる地域を指すのですね</li> <li>・案内回数や参加回数を提示して下さい。</li> </ul>
<p><b>【改善計画】※後日記入</b> イベントや会議は参加できるものは積極的に参加する。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1	1	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	2	1	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	1	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3	1	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・特にない
- ・なかなか参加できず申し訳ございません。施設内の生活や取り組みなど画像が見れたらより分かりやすいと思います。

【前回の改善計画】

- ・今後コロナ禍でも実施できるもので考えているものがあれば示して下さい。
- ・可能であれば地域の心配な方の事例検討会が出来たらと思います。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・2はどのように進めるか

【改善計画】※後日記入

健康第一に考え、また感染対策を講じながら作品展が開催できるよう、作品を準備、検討を重ねる。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	0	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1	2	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	3	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	1	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・特にない
- ・防災についてはケア会議で挙げており、BPC作成についても地域の居宅、小規模の皆様と引き続き情報共有出来たらと思いました。

【前回の改善計画】

- ・0の実施イメージを提示して下さい。
- ・訓練等を一緒にできたらうれしいです。よろしく願いいたします。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・地域に必要とされる拠点であるために積極的な地域と協働した取り組みがあまりできていない5人とほとんどできていない7人と今一つ評価が低いようである。例えば、近隣の地域とだけでも連携をとられては？

【改善計画】※後日記入

引き続き訓練への参加、見学のお誘いをし、自治会、包括等へも呼びかけていく。



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	京都市社会福祉協議会	代表者	小石玖三主	法人・事業所の特徴	施設理念の「笑顔とぬくもりを大切に、寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えます」に加え「かんきょうを変えず、たのしみながら、ぎょうじに参加し、はつらつと、らしい生活のお手伝いをします」の小規模多機能のコンセプトを意識しながら、在宅で暮らし続けていけるように、職員間の話し合いを大切にして、適宜必要な情報を正しく共有できるように、そして、その時々に合わせて援助を心がけています。
事業所名	小規模多機能かたぎはら	管理者	林尚子		

出席者 (書面回答者)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	(2人)	人	人	(1人)	人	3人	(1人)	(4人)

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議や事業所内の会議において、「オンラインでできる『〇〇して欲しい事』」の意見を出し合いその内容を検討し、年度内で1回実施できるようにする。	「オンラインで出来る〇〇」は進んでいない。第1回の書面開催時にアンケートをお願いし、コロナ禍で困っている事のご意見を頂きました。第4回対面開催で出た案(広報誌仕分け)を1度試すことはできた。	コロナ禍で会議が書面開催となり、色々工夫して分かりやすくして下さっているのは理解できるが地域としても活動が制限されてどうする事もできない	ホームページのお知らせ欄を活用、更新をし施設をアピールしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	法人と連携し、石垣に実現可能な内容を検討する。施設内から外部が見える場所から施設をアプローチをする。	外壁へのアプローチは出来なかったが、小規模西側の居室窓に『小多機能かたぎはら』を貼り出し見えるようにしたが、アプローチとしては不足を感じている。	少し遠慮気味に思える。	遠くからでも判る建物にする為、車道側や2,3階の避難経路の側面にかたぎはらのペインティングを検討する。併せて横断幕の作成も検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	上記同様	上記同様	公会堂のTVが設置されれば施設での取組み等のPRをDVDに入れてすこやかサロン等で披露されては?	上記同様。 チラシを地域住民にポスティングする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	開催される研修や行事への参加促進に努める。	地域ケア会議など開催時は参加している。	地域としてはコロナが収まるまでお誘いは不可能である。コロナが落ち着いたら又お誘いできるイベントも計画したい。	イベントや会議は参加できるものは積極的に参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域との関わりを念頭に、作品展の開催(内容、日程等)および開催方法(来所開催、オンライン開催、紙面のお知らせ等)を検討し、地域へ施設での生活を発信する。	職員体制が厳しい状態になったのちのコロナ感染対応等に追われ、作品展の開催計画は立てられなかった。	コロナが落ち着かないとまずは健康面が最優先と思われる。	健康第一に考え、また感染対策を講じながら作品展が開催できるよう、作品を準備、検討を重ねる。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>消防訓練の開催のお知らせを引き続き行い、状況によって地域の方へ消火訓練等可能な訓練参加を呼び掛ける。 防災に関して近隣施設と意見交換、情報共有をオンラインで企画し、地域の方との協力体制の構築を共通認識できるように働きかける。</p>	<p>消防訓練のお知らせは開催毎に配布した。今年度3月開催時消火訓練参加者を呼びかけ予定。 近隣との意見交換の場は企画出来ていない。</p>	<p>消防訓練（防災）は地域でも各自治会が小学校で実施しているだけの状態である。</p>	<p>引き続き訓練への参加、見学のお誘いをし、自治会、包括等へも呼びかけていく。</p>
----------------------------	---	--	--	--

